

開講年度	令和 7 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 30 週実施)			単位数	4単位
授業内容	ホームルーム				
到達目標	専門学校生として必要な知識や社会性を育む。また、公務員の職種研究や不足分の授業を行う。				
担当教員 実務経験	長谷川：学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	プリントを使用				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/11(金)	3	適性試験練習 素養試験	
2	4/18(金)	3	適性試験練習 B B Q大会準備	
3	5/2(金)	3	適性試験練習 体育祭準備①	
4	5/9(金)	3	適性試験練習 公務員模擬試験①	
5	5/16(金)	3	適性試験練習 体育祭準備②	
6	5/23(金)	3	適性試験練習 公務員模擬試験②	
7	5/30(金)	3	適性試験練習 体育祭を終えて	
8	6/6(金)	3	適性試験練習 公務員模擬試験③	
9	6/13(金)	3	適性試験練習 公務員試験申し込み①	
10	6/20(金)	3	適性試験練習 フィールドワーク①	
11	6/27(金)	3	適性試験練習 公務員模擬試験④	
12	7/4(金)	3	適性試験練習 公務員模擬試験⑤	
13	7/11(金)	3	適性試験練習 フィールドワーク②	
14	7/18(金)	3	適性試験練習 公務員模擬試験⑥	
15	7/25(金)	3	適性試験練習 公務員試験申し込み③	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	25 %	学習成果評価（定期試験）	75 %

開講年度	令和 7 年度	学期	通年	必修・選択	必修
科目名	職業指導 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A組	学年	1年

授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感
16	8/29(金)	3	公務員試験過去問演習・解説	
17	9/5(金)	3	公務員試験過去問演習・解説	
18	9/12(金)	3	公務員試験過去問演習・解説	
19	9/19(金)	3	公務員試験過去問演習・解説	
20	9/26(金)	1	公務員試験過去問演習・解説	
21	10/31(金)	1	公務員試験の振り返り	
22	11/7(金)	1	プレゼンテーション技法①	
23	11/14(金)	1	プレゼンテーション技法②	
24	11/28(金)	1	プレゼンテーション技法③	
25	12/5(金)	1	社会研修に向けて	
26	12/12(金)	1	海外事情を知る	
27	12/19(金)	1	日本の年行事を考える	
28	1/9(金)	1	SPI対策	
29	1/16(金)	1	SPI対策	
30	1/23(金)	1	後期末試験	

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 A	学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/14(月)	3	ガイダンス I－1 命題・論理	
2	4/15(火)	2	I－1 命題・論理	
3	4/21(月)	3	I－2 暗号・規則性	
4	4/22(火)	2	I－3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/28(月)	3	I－3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/29(火)	2	I－4 うそと本当の問題	
7	5/12(月)	3	I－4 うそと本当の問題	
8	5/13(火)	2	I－5 対応関係	
9	5/19(月)	1	I－5 対応関係	
10	5/20(火)	2	I－6 順位・順序(1)	
11	5/26(月)	1	I－6 順位・順序(1)	
12	5/27(火)	2	I－8 順位・順序(2)	
13	6/2(月)	1	I－8 順位・順序(2)	
14	6/3(火)	2	I－9 比較	
15	6/9(月)	1	I－10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 A	学年 1年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/10(火)	2	I－10 手順	
17	6/16(月)	1	I－11 曜日に関する問題	
18	6/17(火)	2	I－12 位置	
19	6/23(月)	1	I－12 位置	
20	6/24(火)	2	I－13 方位	
21	6/30(月)	1	I－14 道順	
22	7/1(火)	2	II－1 平面図形の分割と構成	
23	7/7(月)	1	II－2 平面図形の個数	
24	7/8(火)	2	II－3 立体図形の分割と個数 II－4 立体の個数	
25	7/14(月)	1	II－5 立方体の展開図 II－6 立方体以外の展開図	
26	7/15(火)	2	II－7 折り紙	
27	7/21(月)	1	II－8 投影図・見取図 II－9 さいころ	
28	7/22(火)	2	II－10 軌跡	
29	7/28(月)	2	II－11 断面図・回転図	
30	7/29(火)	1	前期末試験	

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I			担当者名	岩崎 郁人
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 B	学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「判断推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	判断推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 判断推理				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/14(月)	3	ガイダンス I－1 命題・論理	
2	4/15(火)	2	I－1 命題・論理	
3	4/21(月)	3	I－2 暗号・規則性	
4	4/22(火)	2	I－3 試合と勝敗に関する問題	
5	4/28(月)	3	I－3 試合と勝敗に関する問題	
6	4/29(火)	2	I－4 うそと本当の問題	
7	5/12(月)	3	I－4 うそと本当の問題	
8	5/13(火)	2	I－5 対応関係	
9	5/19(月)	1	I－5 対応関係	
10	5/20(火)	2	I－6 順位・順序(1)	
11	5/26(月)	1	I－6 順位・順序(1)	
12	5/27(火)	2	I－8 順位・順序(2)	
13	6/2(月)	1	I－8 順位・順序(2)	
14	6/3(火)	2	I－9 比較	
15	6/9(月)	1	I－10 手順	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	判断推理 I			担当者名	岩崎 郁人
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 B	学年 1 年

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
16	6/10(火)	2	I-10 手順	
17	6/16(月)	1	I-11 曜日に関する問題	
18	6/17(火)	2	I-12 位置	
19	6/23(月)	1	I-12 位置	
20	6/24(火)	2	I-13 方位	
21	6/30(月)	1	I-14 道順	
22	7/1(火)	2	II-1 平面図形の分割と構成	
23	7/7(月)	1	II-2 平面図形の個数	
24	7/8(火)	2	II-3 立体図形の分割と個数 II-4 立体の個数	
25	7/14(月)	1	II-5 立方体の展開図 II-6 立方体以外の展開図	
26	7/15(火)	2	II-7 折り紙	
27	7/21(月)	1	II-8 投影図・見取図 II-9 さいころ	
28	7/22(火)	2	II-10 軌跡	
29	7/28(月)	2	II-11 断面図・回転図	
30	7/29(火)	1	前期末試験	

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (K1)			担当者名	瀬木
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 A	学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いいずな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(水)	3	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/11(金)	2	I-1 虫食い算	
3	4/16(水)	3	I-2 魔方陣	
4	4/18(金)	2	I-3 倍数と約数	
5	4/23(水)	3	I-3 倍数と約数	
6	4/30(水)	3	I-4 整数問題	
7	5/2(金)	2	I-4 整数問題	
8	5/9(金)	2	I-5 数の性質	
9	5/14(水)	3	I-5 数の性質	
10	5/16(金)	2	I-6 方程式・不等式	
11	5/21(水)	3	I-6 方程式・不等式	
12	5/23(金)	2	I-6 方程式・不等式	
13	5/28(水)	3	I-7 集合	
14	5/30(金)	2	I-7 集合	
15	6/4(水)	3	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度		令和 7 年度		学期	前期		必修・選択		選択			
科目名		数的推理Ⅰ (K1)						担当者名		瀬木		
学科		短期公務員科			コース		A組 習熟度A		学年		1年	
授業回数	授業日	時限	授業実施計画				実施内容・所感					
16	6/6(金)	2	Ⅰ－8 割合・百分率									
17	6/11(水)	3	Ⅰ－9 濃度									
18	6/18(水)	3	Ⅰ－9 濃度									
19	6/20(金)	2	Ⅰ－10 対比									
20	6/25(水)	3	Ⅰ－11 利益									
21	6/27(金)	2	Ⅰ－12 速さ									
22	7/2(水)	3	Ⅰ－12 速さ									
23	7/4(金)	2	Ⅰ－12 速さ									
24	7/9(水)	3	Ⅰ－13 場合の数									
25	7/11(金)	2	Ⅰ－14 確率									
26	7/16(水)	3	Ⅰ－14 確率									
27	7/18(金)	2	Ⅱ－1 三平方の定理									
28	7/23(水)	3	Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積									
29	7/25(金)	2	Ⅱ－3 立体の体積と表面積									
30	7/30(水)	3	前期末試験									

<備考>

①テキスト残りの単元について

Ⅱ－4 角度

Ⅱ－5 円の性質

Ⅱ－6 図形の相似

Ⅱ－7 最短距離

については、資料解釈 I (山田)にて実施

②クラス分けについて

上位クラス…担当：山田

下位クラス…担当：瀬木とする。1～2か月に1回、週例テストを参考に入れ替えを行う。

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	数的推理 I (K1)			担当者名	山田
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 B	学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「数的推理」を一から講義・演習し、解説を行う。				
到達目標	数的推理の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いいずな書店)				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/9(水)	3	ガイダンス I-1 虫食い算	
2	4/11(金)	2	I-1 虫食い算	
3	4/16(水)	3	I-2 魔方陣	
4	4/18(金)	2	I-3 倍数と約数	
5	4/23(水)	3	I-3 倍数と約数	
6	4/30(水)	3	I-4 整数問題	
7	5/2(金)	2	I-4 整数問題	
8	5/9(金)	2	I-5 数の性質	
9	5/14(水)	3	I-5 数の性質	
10	5/16(金)	2	I-6 方程式・不等式	
11	5/21(水)	3	I-6 方程式・不等式	
12	5/23(金)	2	I-6 方程式・不等式	
13	5/28(水)	3	I-7 集合	
14	5/30(金)	2	I-7 集合	
15	6/4(水)	3	I-8 割合・百分率	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度		令和 7 年度		学期	前期		必修・選択		選択		
科目名		数的推理Ⅰ (K1)						担当者名		山田	
学科		短期公務員科			コース		A組 習熟度B		学年		1年
授業回数	授業日	時限	授業実施計画					実施内容・所感			
16	6/6(金)	2	Ⅰ－8 割合・百分率								
17	6/11(水)	3	Ⅰ－9 濃度								
18	6/18(水)	3	Ⅰ－9 濃度								
19	6/20(金)	2	Ⅰ－10 対比								
20	6/25(水)	3	Ⅰ－11 利益								
21	6/27(金)	2	Ⅰ－12 速さ								
22	7/2(水)	3	Ⅰ－12 速さ								
23	7/4(金)	2	Ⅰ－12 速さ								
24	7/9(水)	3	Ⅰ－13 場合の数								
25	7/11(金)	2	Ⅰ－14 確率								
26	7/16(水)	3	Ⅰ－14 確率								
27	7/18(金)	2	Ⅱ－1 三平方の定理								
28	7/23(水)	3	Ⅱ－2 円・おうぎ形の面積								
29	7/25(金)	2	Ⅱ－3 立体の体積と表面積								
30	7/30(水)	3	前期末試験								

<備考>

①テキスト残りの単元について

Ⅱ－4 角度

Ⅱ－5 円の性質

Ⅱ－6 図形の相似

Ⅱ－7 最短距離

については、資料解釈 I (山田)にて実施

②クラス分けについて

上位クラス…担当：山田

下位クラス…担当：瀬木とする。1～2か月に1回、週例テストを参考に入れ替えを行う。

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	深井 淳二
学科	短期公務員科	コース	A組		学年 1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	キャリア教育等の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について分かりやすく指導する				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(木)	1	ガイダンス 生物 1 細胞の構造と働き	
2	4/15(火)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/17(木)	1	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/22(火)	3	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/24(木)	1	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/29(火)	3	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	5/1(木)	1	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/8(木)	1	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/13(火)	3	生物 5 遺伝(1)	
10	5/15(木)	1	生物 5 遺伝(2)	
11	5/20(火)	3	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/22(木)	1	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/27(火)	3	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/29(木)	1	生物のまとめ	
15	6/3(火)	3	化学 0 元素記号	

定期試験				
評価基準	学習過程評価（平常点）	30 %	学習成果評価（定期試験）	70 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択	
科目名	自然科学 I			担当者名	深井 淳二	
学科	短期公務員科		コース	A 組	学年	1年
授業回数	授業日	時限	時限		実施内容・所感	
16	6/5(木)	1	化学 1 物質の構成・化学結合			
17	6/10(火)	3	化学 2 周期表(1)			
18	6/12(木)	1	化学 2 周期表(2)			
19	6/17(火)	3	化学 3 物質の状態			
20	6/19(木)	1	化学 4 化学反応(1)			
21	6/24(火)	3	化学 4 化学反応(2)			
22	6/26(木)	1	化学 5 酸・塩基(1)			
23	7/1(火)	3	化学 5 酸・塩基(2)			
24	7/8(火)	3	化学 6 酸化・還元(1)			
25	7/10(木)	1	化学 6 酸化・還元(2)			
26	7/15(火)	3	化学 7 金属の性質			
27	7/17(木)	1	化学 8 気体の製法と性質(1)			
28	7/22(火)	3	化学 8 気体の製法と性質(2)			
29	7/24(木)	1	化学のまとめ			
30	7/29(火)	3	前期末試験			

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	高橋
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 B	学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に生物・化学を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(木)	1	ガイダンス 生物 1 細胞の構造と働き	
2	4/15(火)	3	生物 2 光合成・呼吸・酵素(1)	
3	4/17(木)	1	生物 2 光合成・呼吸・酵素(2)	
4	4/22(火)	3	生物 3 恒常性と調節(1)	
5	4/24(木)	1	生物 3 恒常性と調節(2)	
6	4/29(火)	3	生物 3 恒常性と調節(3)	
7	5/1(木)	1	生物 4 刺激と反応(1)	
8	5/8(木)	1	生物 4 刺激と反応(2)	
9	5/13(火)	3	生物 5 遺伝(1)	
10	5/15(木)	1	生物 5 遺伝(2)	
11	5/20(火)	3	生物 6 植物の反応・調節(1)	
12	5/22(木)	1	生物 6 植物の反応・調節(2)	
13	5/27(火)	3	生物 7 生殖・発生・進化	
14	5/29(木)	1	生物のまとめ	
15	6/3(火)	3	化学 0 元素記号	

定期試験				
評価基準	学習過程評価（平常点）	30 %	学習成果評価（定期試験）	70 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学 I			担当者名	高橋
学科	短期公務員科		コース	A 組 習熟度 B	学年 1年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	6/5(木)	1	化学 1 物質の構成・化学結合		
17	6/10(火)	3	化学 2 周期表(1)		
18	6/12(木)	1	化学 2 周期表(2)		
19	6/17(火)	3	化学 3 物質の状態		
20	6/19(木)	1	化学 4 化学反応(1)		
21	6/24(火)	3	化学 4 化学反応(2)		
22	6/26(木)	1	化学 5 酸・塩基(1)		
23	7/1(火)	3	化学 5 酸・塩基(2)		
24	7/8(火)	3	化学 6 酸化・還元(1)		
25	7/10(木)	1	化学 6 酸化・還元(2)		
26	7/15(火)	3	化学 7 金属の性質		
27	7/17(木)	1	化学 8 気体の製法と性質(1)		
28	7/22(火)	3	化学 8 気体の製法と性質(2)		
29	7/24(木)	1	化学のまとめ		
30	7/29(火)	3	前期末試験		

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学 I			担当者名	長谷川靖洋・瀬木翼
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	公務員試験の出題分野である「日本史・世界史」を分野を絞って一から講義し、過去問の解説を行う。				
到達目標	日本史・世界史の知識を修得し、公務員試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	"絶対"合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート)				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(水)	2	ガイダンス	
2	4/14(月)	2	世24 中国史① 世25 中国史②	
3	4/16(水)	2	日11 近世1(安土・桃山時代) 日12 近世2(江戸時代1)	
4	4/21(月)	2	世24 中国史③ 世25 中国史④	
5	4/23(水)	2	日13 近世3(江戸時代2) 日14 近世4(江戸時代3)	
6	4/28(月)	1	世26 中国史⑤ 世27 中国史⑥	
7	4/30(水)	2	日15 近世5(江戸時代4) 日16 近世6(江戸時代5)	
8	5/12(月)	1	世28 中国史⑦ 世29 中国史⑧	
9	5/14(水)	2	日17 近世7(江戸時代6) 江戸時代の復習	
10	5/19(月)	1	世30 中国史⑨ 世31 中国史⑩	
11	5/21(水)	2	日18 近代1(明治1) 日19 近代2(明治2)	
12	5/26(月)	1	世32 中国史⑪ 世33 中国史⑫	
13	5/28(水)	2	日20 近代3(明治3) 日21 近代4(明治4)	
14	6/2(月)	1	世界史 中国史過去問演習	
15	6/4(水)	2	日22 近代5(大正) 日23 近代6(昭和1)	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価(平常点)	20 %	学習成果評価(定期試験)	80 %

開講年度		令和 7 年度		学期	前期		必修・選択		選択		
科目名		人文科学 I						担当者名		長谷川靖洋・瀬木翼	
学科		短期公務員科			コース		A 組			学年	1年
授業回数	授業日	時限	授業計画				実施内容・所感				
16	6/9(月)	1	世4 中世ヨーロッパ② 世5 中世ヨーロッパ③								
17	6/11(水)	2	日24 近代7 (昭和2) 日25 現代1 (戦後1)								
18	6/16(月)	1	世6 近世ヨーロッパ① 世7 近世ヨーロッパ②								
19	6/18(水)	2	日26 現代2 (戦後2) 復習演習								
20	6/23(月)	1	世8 近世ヨーロッパ③ 世9 市民革命①								
21	6/25(水)	2	日5 古代5 (平安時代) 日6 古代6 (平安時代末期)								
22	6/30(月)	1	世10 市民革命② 世11 市民革命③								
23	7/2(水)	2	日7 中世1 (鎌倉時代初期) 日8 中世2 (鎌倉時代中期以降)								
24	7/7(月)	1	世12 ナポレオン時代 世13 産業革命 世14 19C~20Cのヨーロッパ								
25	7/9(水)	2	日9 中世3 (南北朝～室町初期) 日10 中世4 (室町中期以降～)								
26	7/14(月)	1	世15 19C~20Cのヨーロッパ 世16 帝国主義から世界大戦へ 世17 ロシア革命と戦後の国際社会								
27	7/16(水)	2	日本史過去問演習								
28	7/21(月)	1	世18 戦間期の欧米諸国 世19 第二次世界大戦								
29	7/23(水)	2	世20 戦後と冷戦の始まり 世21 冷戦の拡大、各国の首脳								
30	7/28(月)	1	前期末試験								

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1 年
授業時間	総時間数 2,700 分 総授業回数 30 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 2 回で 15 週実施)			単位数	4単位
授業内容	政治および経済分野の知識習得し、公務員として働く基本的な教養を身につける。				
到達目標	公務員試験の教養試験が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	絶対合格シリーズ「社会科学」テキスト編（麻生キャリアサポート） モノグサ（e-ラーニングシステム）				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(木)	3	政治 1 統治機構 三権分立	
2	4/15(火)	4	政治 2 統治機構 国会(1)	
3	4/17(木)	3	政治 2 統治機構 国会(2)	
4	4/22(火)	4	政治 3 統治機構 内閣	
5	4/24(木)	3	政治 4 統治機構 裁判所	
6	4/29(火)	4	政治 5 日本国憲法の基本的性格(1)	
7	5/1(木)	3	政治 5 日本国憲法の基本的性格(2)	
8	5/8(木)	3	政治 6 地方自治(1)	
9	5/13(火)	4	政治 6 地方自治(2)	
10	5/15(木)	3	政治 7 選挙制度(1)	
11	5/20(火)	4	政治 7 選挙制度(2)	
12	5/22(木)	3	政治 8 民主主義の発展	
13	5/27(火)	4	政治 9 各国の政治制度	
14	5/29(木)	3	政治10 基本的人権の尊重 自由権	
15	6/3(火)	4	政治11 基本的人権の尊重 社会権	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	社会科学 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科		コース	A 組	学年 1年
授業回数	授業日	時限	時限	実施内容・所感	
16	6/5(木)	3	政治12 基本的人権の尊重 その他		
17	6/10(火)	4	政治13 国際政治と日本(1)		
18	6/12(木)	3	政治13 国際政治と日本(2)		
19	6/17(火)	4	経済 1 経済の仕組み 市場と価格		
20	6/19(木)	3	経済 2 企業の仕組み		
21	6/24(火)	4	経済 3 景気と物価		
22	6/26(木)	3	経済 4 金融と日本銀行の金融政策		
23	7/1(火)	4	経済 5 財政政策		
24	7/8(火)	4	経済 6 為替レートと貿易		
25	7/10(木)	3	経済 7 国際経済との関わり		
26	7/15(火)	4	経済 8 国民所得と経済成長		
27	7/17(木)	3	経済 9 現代日本経済の構造と課題		
28	7/22(火)	4	経済10 経済学史		
29	7/24(水)	3	問題演習		
30	7/29(火)	4	前期末試験		

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	文章理解 I			担当者名	富田 篤子
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験科目「文章理解・国語」対策				
到達目標	公務員試験に合格できる力を身に付ける				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	公務員試験過去問徹底分析“絶対”合格シリーズ 文章理解テキスト篇				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/9(水)	1	実力テスト	
2	4/16(水)	1	要旨	
3	4/23(水)	1	要旨	
4	4/30(水)	1	要旨	
5	5/14(水)	1	文章整序	
6	5/28(水)	1	空欄補充	
7	6/4(水)	1	内容合致	
8	6/11(水)	1	内容合致	
9	6/18(水)	1	総合問題	
10	6/25(水)	1	総合問題	
11	7/2(水)	1	総合問題	
12	7/9(水)	1	総合問題	
13	7/16(水)	1	総合問題	
14	7/23(水)	1	総合問題	
15	7/30(水)	1	総合問題	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	作文適性 I			担当者名	富田 篤子
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の論作文対策				
到達目標	公務試験で合格できるような答案が記述できるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自作プリント				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/15(火)	1	授業ガイダンス・自己分析	
2	4/22(火)	1	自己分析・職種研究	
3	4/29(火)	1	原稿用紙の使い方	
4	5/13(火)	1	作文タイトル①構成	
5	5/20(火)	1	作文タイトル①清書	
6	5/27(火)	1	作文タイトル②構成	
7	6/3(火)	1	作文タイトル②清書	
8	6/10(火)	1	作文タイトル③構成	
9	6/17(火)	1	作文タイトル③清書	
10	6/24(火)	1	作文タイトル④構成	
11	7/1(火)	1	作文タイトル④清書	
12	7/8(火)	1	作文タイトル⑤構成	
13	7/15(火)	1	作文タイトル⑤清書	
14	7/22(火)	1	作文タイトル⑥構成	
15	7/29(火)	1	作文タイトル⑥清書	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	40 %	学習成果評価（定期試験）	60 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	資料解釈 I			担当者名	山田 祐嗣
学科	短期公務員科	コース	公務員コース	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験の「資料解釈」分野を一から講義することにより、傾向と対策を知ることができる。また、事務適性検査の練習も行う。				
到達目標	「資料解釈」の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験					
使用教材	公務員合格ゼミ 数的推理 (いづな書店)				

授業回数	授業日	時限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/11(金)	1	適性検査① ガイダンス Ⅲ－1 指数	
2	4/18(金)	1	適性検査② Ⅲ－1 指数	
3	5/2(金)	1	適性検査③ Ⅲ－2 増加率	
4	5/9(金)	1	適性検査④ Ⅲ－2 増加率	
5	5/16(金)	1	適性検査⑤ Ⅲ－3 割合	
6	5/23(金)	1	適性検査⑥ Ⅲ－4 実数	
7	5/30(金)	1	適性検査⑦ Ⅲのまとめ	
8	6/6(金)	1	適性検査⑧ 資料解釈総合問題①	
9	6/13(金)	1	適性検査⑨ 資料解釈総合問題②	
10	6/20(金)	1	適性検査⑩ Ⅱ－4 角度	
11	6/27(金)	1	適性検査⑪ Ⅱ－5 円の性質	
12	7/4(金)	1	適性検査⑫ Ⅱ－6 図形の相似	
13	7/11(金)	1	適性検査⑬ 資料解釈総合問題③	
14	7/18(金)	1	適性検査⑭ 資料解釈総合問題④ 期末試験対策	
15	7/25(金)	1	期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	ビジネス技能 I			担当者名	石崎 友子
学科	短期公務員科	コース	A 組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	社会人としての言葉遣いやマナー、また話し方や立ち居振る舞いなどを学ぶ				
到達目標	社会に出たときに、学んだことが使えるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/10(木)	4	公務員試験を知る	
2	4/17(木)	4	公務員試験の職種調べ	
3	4/24(木)	4	なぜ公務員として働きたいのか？	
4	5/1(木)	4	相手に伝わる話し方(1)	
5	5/8(木)	4	相手に伝わる話し方(2)	
6	5/15(木)	4	立ち居振る舞い(1)	
7	5/22(木)	4	立ち居振る舞い(2)	
8	5/29(木)	4	ケーススタディ(1)	
9	6/5(木)	4	ケーススタディ(2)	
10	6/12(木)	4	プレゼンで大切にすべきこと	
11	6/19(木)	4	1 分間スピーチのコツ(1)	
12	6/26(木)	4	1 分間スピーチのコツ(2)	
13	7/10(木)	4	面接試験で大切なこと(1)	
14	7/17(木)	4	面接試験で大切なこと(2)	
15	7/24(木)	4	前期末試験	
定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	公務員演習 I			担当者名	増田 良子
学科	短期公務員科	コース	A 組	学年	1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	適性試験の練習ならびに、前週の授業の確認を目的とした確認テストを実施する				
到達目標	①適性試験が解けるようになる ②確認テストを実施することで、自分の学力定着が図れるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	プリント配付				

授業 回数	授業日	時 限	授業実施計画	実施内容・所感
1	4/14(月)	1	適性試験 公務員試験職種研究	
2	4/21(月)	1	適性試験 確認テスト(1)	
3	4/28(月)	1	適性試験 確認テスト(2)	
4	5/12(月)	1	適性試験 確認テスト(3)	
5	5/19(月)	1	適性試験 確認テスト(4)	
6	5/26(月)	1	適性試験 確認テスト(5)	
7	6/2(月)	1	適性試験 確認テスト(6)	
8	6/9(月)	1	適性試験 確認テスト(7)	
9	6/16(月)	1	適性試験 確認テスト(8)	
10	6/23(月)	1	適性試験 確認テスト(9)	
11	6/30(月)	1	適性試験 確認テスト(10)	
12	7/7(月)	1	適性試験 確認テスト(11)	
13	7/14(月)	1	適性試験 確認テスト(12)	
14	7/21(月)	1	適性試験 確認テスト(13)	
15	7/28(月)	1	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	20 %	学習成果評価（定期試験）	80 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I			担当者名	深井
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 A	学年 1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に地学・物理を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(木)	2	地学 1 地球の構成物質(1)	
2	4/17(木)	2	地学 2 地球の内部構造と地震	
3	4/24(木)	2	地学 3 地球の歴史	
4	5/1(木)	2	地学 4 地球・太陽・月	
5	5/8(木)	2	地学 5 太陽系・恒星	
6	5/15(木)	2	地学 6 大気と海洋	
7	5/22(木)	2	地学 7 天気	
8	5/29(木)	2	物理 1 力の性質(1)	
9	6/5(木)	2	物理 1 力の性質(2)	
10	6/12(木)	2	物理 2 物体の運動	
11	6/19(木)	2	物理 3 運動量・エネルギー	
12	6/26(木)	2	物理 4 熱とエネルギー	
13	7/10(木)	2	物理 5 波動	
14	7/17(木)	2	物理 6 電気回路と磁気	
15	7/24(木)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	30 %	学習成果評価（定期試験）	70 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	自然科学演習 I			担当者名	高橋
学科	短期公務員科	コース	A 組	習熟度 B	学年 1 年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験で出題される自然科学（理科）の分野の中で、特に地学・物理を中心とした分野を扱い、理科に対する知識を深める				
到達目標	公務員試験の問題が理解でき、解けるようになる				
担当教員 実務経験	なし				
使用教材	自然科学 テキスト&問題集（ウイネット）				

授業回数	授業日	時限	授業計画	実施内容・所感
1	4/10(木)	2	地学 1 地球の構成物質(1)	
2	4/17(木)	2	地学 2 地球の内部構造と地震	
3	4/24(木)	2	地学 3 地球の歴史	
4	5/1(木)	2	地学 4 地球・太陽・月	
5	5/8(木)	2	地学 5 太陽系・恒星	
6	5/15(木)	2	地学 6 大気と海洋	
7	5/22(木)	2	地学 7 天気	
8	5/29(木)	2	物理 1 力の性質(1)	
9	6/5(木)	2	物理 1 力の性質(2)	
10	6/12(木)	2	物理 2 物体の運動	
11	6/19(木)	2	物理 3 運動量・エネルギー	
12	6/26(木)	2	物理 4 熱とエネルギー	
13	7/10(木)	2	物理 5 波動	
14	7/17(木)	2	物理 6 電気回路と磁気	
15	7/24(木)	2	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価（平常点）	30 %	学習成果評価（定期試験）	70 %

開講年度	令和 7 年度	学期	前期	必修・選択	選択
科目名	人文科学演習 I			担当者名	長谷川 靖洋
学科	短期公務員科	コース	A組		学年 1年
授業時間	総時間数 1,350 分 総授業回数 15 回			授業形態	講義
	(90 分授業を、週 1 回で 15 週実施)			単位数	2単位
授業内容	公務員試験にて出題される「地理」の範囲について一から講義をし、公務員試験が解ける力をつける。				
到達目標	「地理」の基本事項を覚えることができ、公務員試験の出題形式の問題が解けるようになる。				
担当教員 実務経験	学習塾を経営する会社での講師経験や情報システム会社での失業者職業訓練の経験を活かし、公務員試験対策と学習方法について、分かりやすく指導する。				
使用教材	”絶対”合格シリーズ 人文科学 (麻生キャリアサポート) モノグサ (e-ラーニングシステム)				

授業 回数	授業日	時 限	授業計画	実施内容・所感
1	4/14(月)	4	ガイダンス 1 気候(1)	
2	4/21(月)	4	1 気候(1) 2 気候(2)・土壌	
3	4/28(月)	4	3 風・日本の気候 4 地形(1)	
4	5/12(月)	4	5 地形(2) 6 地形(3)	
5	5/19(月)	4	7 地図 8 世界の農牧業(1)	
6	5/26(月)	4	9 世界の農牧業(2) 10 生産量・輸出入・発電	
7	6/2(月)	4	11 東アジア(1) 12 東アジア(2)	
8	6/9(月)	4	13 東南アジア(1) 14 東南アジア(2)	
9	6/16(月)	4	15 南アジア 16 西アジア	
10	6/23(月)	4	17 アフリカ 18 ヨーロッパ(1)	
11	6/30(月)	4	19 ヨーロッパ(2) 20 ロシア・旧ソ連諸国・中央アジア	
12	7/7(月)	4	21 北アメリカ 22 南アメリカ	
13	7/14(月)	4	23 オセアニア 24 人口 25 漁業・産業	
14	7/21(月)	4	まとめの授業	
15	7/28(月)	4	前期末試験	

定期試験	筆記			
評価基準	学習過程評価 (平常点)	20 %	学習成果評価 (定期試験)	80 %